

回覧印座								



建災防だより 5月号

令和7年5月1日 建設業労働災害防止協会香川支部

〒760-0026 高松市磨屋町6-4

TEL: 087-821-5243 FAX: 087-821-5229

メール: <u>info@kensaibou-kagawa.jp</u>

ホームペーミ はこちら

ホームページ: https://kensaibou-kagawa.jp

検索方法:建災防香川 (けんさいぼうかがわ)

※ 5月の連休明けに、建災防だよりをご覧になっていると思います。これから一気に暑くなってきます。けれど、身体がまだ熱順化できていませんので、熱中症になりやすい環境です。作業者自身の自覚が必要ですので「がまんするな!」と声かけをお願いします。

主な内容

- ◎ 新人研修会を開催しました
- 令和7年度の会員研修会を開催しました
- ◎ 熱中症対策の法改正について
- ◎ 専門工事業者への支援事業のご案内(安全教育・現場パトロールが無料)
- ◎ 自然災害からの復旧工事安全衛生確保支援事業のご案内(活動が無料)
- ◎ 建災防香川支部の安全講話・教育講師派遣のご案内(有料)
- ◎ 建設業における労働災害の発生状況について(3月末現在)
- ◎ 化学物質管理者<mark>講習</mark>・保護具着用管理責任者<mark>講習</mark>のご案内

◎. 新人研修会を開催しました。

好評だった昨年に続き、今年も新人研修(有料)を開催しました。42名のフレッシュマンを対象に建設現場での安全衛生の取り組み、心がまえについてさまざまな角度から講義内容を考え開催しました。グループ活動では、クイズ形式(なぞとき)で皆に話し合ってもらい、学んでいく科目を取り入れました。受講生のアンケートからは「充実した企画・講習内容であった」との反響をいただきました。来年度もより充実したものにしたいと考えています。

日時: 2025年4月4日8:30~17:00 場所:香川県建設会館



講義中



講義中



グループ討議中



グループ討議中



グループ討議中



修了証交付

◎. 令和7年度の会員研修会を開催しました

今年も、西讃地区4月9日(水)、中讃地区4月11日(金)、長尾地区4月17日(木)、高松地区4月15日(火)、小豆地区4月22日(火)と各地区で会員研修会を実施することができました。多くの会員の皆様に参加していただきありがとうございました。

各監督署の署長、土木事務所の次長、土地改良事務所の次長、各監督署の安全衛生担当、そして助成金センターのアドバイザーの方々に労働行政及び公共事業の執行状況及び現場における労働災害防止並びに労働災害防止対策等のご講話をしていただきました。

建災防からは、令和 7 年度の技能講習や特別教育等の講習スケジュール、昨年の労働災害分析、 労働安全衛生法の違反状況の分類や、支援事業案内等、労働災害防止を図る為に、現場において役立つと思われる資料について説明をしました。この会員研修会は、労働災害防止活動としての重要な行事であるため、今後も内容充実に努めたいと思っています。多くの方の参加をお願いいたします。



高 松 地 区



高 松 地 区



中 讃 地 区



西 讃 地 区



長 尾 地 区



小 豆 地 区

◎. 熱中症対策の法改正について

熱中症による、死亡災害の多発を踏まえた<mark>対策の強化が法改正</mark>されました。令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されます。

令和7年6月1日に 改正労働安全衛生規則が 施行されます

職場における 『厚生労働省 熱中症対策の強化について

熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5~6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響 により更なる増加の懸念。

ほとんどが

「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

死亡に至らせない (重篤化させない)ための 適切な対策の実施が必要。

基本的な考え方

見つける 判断する 対処する

1 「熱中症の自覚症状がある作業者」や 「熱中症のおそれがある作業者を見つけた者」が その旨を報告するための体制整備及び関係作業者 への周知。

> ※報告を受けるだけでなく、職場巡視やバディ制の採用、ウェアラブル デバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状 がある作業者を積極的に把握するように努めましょう。

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、 迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、 以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が 事業者に義務付けられます。

- 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に 迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
 - ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先 及び所在地等
 - ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業者への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で 連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。 ※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講じることとする。

職場における熱中症対策の強化について



熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 1

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

熱中症のおそれのある者を発見 作業離脱、身体冷却 異常等あり 意識の異常等 異常等なし 救急隊要請 できない できる 自力での水分摂取 医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。 (単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する) 医療機関への搬送 経過観察 回復しない、症状悪化 回復 回復

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、 痙攣等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)、 頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

「意識の有無」だけで判断するのではなく、

- ①返事がおかしい
- ②ぼーっとしている

など、普段と様子がおかしい場合も異常等 ありとして取り扱うことが適当。

判断に迷う場合は、安易な判断は避け、 #7119等を活用するなど専門機関や 医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐ こと。

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、 連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 2

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

熱中症のおそれのある者を発見 作業離脱、身体冷却 医療機関までの 搬送の間や 経過観察中は、 一人にしない。 (単独作業の場合は 常に連絡できる状態を 維持する)

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、

連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、 痙攣等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)、 頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等 ① 返事がおかしい

②ぼーっとしている など、

普段と様子がおかしい場合も、熱中症の おそれありとして取り扱うことが適当。

医療機関への搬送に際しては、必要に 応じて、救急隊を要請すること。

救急隊を要請すべきか判断に迷う場合は、 #7119等を活用するなど、専門機関や 医療機関に相談し、専門家の指示を仰ぐ ことも考えられる。 ◎. 専門工事業者等の、安全衛生活動の支援サポートを無料で実施します。 下記ご参照ください。



ご依頼については、裏面の各支部へ、

ご不明な点などは、本部技術管理部 (03-3453-0464) までお問い合わせください。 専門工事業者等の安全衛生活動支援事業

詳しい内容につきましては、建災防ホームページよりパンフレットをご覧ください。

送 建設業労働災害防止協会

右記QRコードにて チェック!



◎. 自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業です。安全 教育、現場パトロールを無料で実施します。下記ご参照ください。

自然災害に関する復用・復興、防災・振災などの正事に集ゆる建設事業者の皆識へ

現場パトロール、教育などの と衛生活動をお手伝いし

自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業のご案内





1 対象となる事業者

自然災害に関する復旧・復興、防災・減災などの工事を施工される建設事業者の皆様

2事業内

安全衛生の専門家が次の内容について無料でお手伝いいたします。

	種類		対象	内 容	
	現場指導		自然災害関連工事の現場	現場パトロール(助言・指導等)	
安全衛生教育	基礎的教(90分程度)		現場経験の浅い方、再教育が必要な方	・建設現場の仕事と安全衛生 ・労働災害とその防止対策など ・ワンポイント安全衛生教育	
教育	管理監督者向け教育 (120分程度)		現場の管理監督的な立場におられる方	・統括安全衛生管理とは ・管理監督者の役割と職務など	

- ※1 ご要望に応じて現場指導では、「ワンポイント安全衛生教育」なども行います。※2 安全衛生教育では、当日テキスト等を配布いたします。テキストの費用はかかりません。

3実施方法など

①実施方法:訪問により実施します。安全衛生教育を希望する際、事業場、現場等に会場がない 場合は、ご相談ください。

②その他:ご要望に応じて「事業実施証明書」を発行いたします。

安全衛生情報の提供なども行います。

詳しくは下記支援センターにお問い合せください。



事業案内WEBページ

お問合せ先

自然災害関連工事香川安全衛生支援センター

ご 建設業労働災害防止協会 香川支部

〒 760-0026 香川県高松市磨屋町 6-4 香川県建設会館 3 階

TEL: 087-821-5243 FAX: 087-821-5229

◎. 建災防香川支部の安全講話・教育講師派遣のご案内(有料)



建災防香川支部の 安全講話・教育講師派遣のご案内

- ○安全講話・教育などの具体例 安全衛生大会での安全講話 社員・関係会社等への安全教育 従業員への安全教育 現場パトロール参加・指導 社内の安全衛生管理体制の見直し
- ◎講師は次のような有資格者が対応いたします。 建災防本部香川支部駐在 安全衛生管理士 労働安全コンサルタント 労働衛生コンサルタント (工学) 土木現場施工経験者 建築現場施工経験者 衛生管理者・作業主任者 など
- ○講師謝金(2時間程度)(税込み)会員社 27,500円会員外 38,500円
- ◎講師旅費 (実費 37 円/km+経費(高速道路など))
- ◎資料費(有料の冊子などを使用した場合)

*土日または 18 時以降も対応可能です!! 「講師派遣要請書」にて申込みください!!

建設業労働災害防止協会香川支部 〒760-0026 高松市磨屋町 6-4 香川県建設会館 3 階 電話 087-821-5243 FAX 087-821-5229



◎. 建設業における労働災害の発生状況について

<令和7年3月末の全国の労働災害>

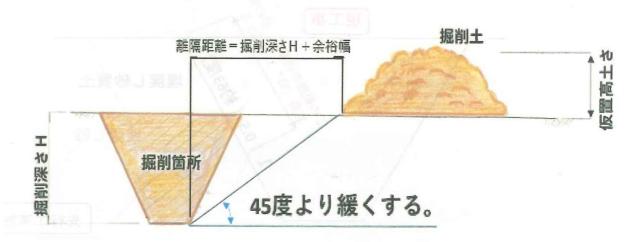
- ・全産業の死亡者数・・・93人(前年同期比 +6人)
- ・建設業の死亡者数・・・28人(前年同期比 +1人)
- ・全産業の休業4日以上の死傷者数・・12.512人 (前年同期比 +266人)
- ・建設業の休業4日以上の死傷者数・・ 1.302人 (前年同期比 ▲19人)

<令和7年3月末の香川県の労働災害>

- ・全産業の死亡者数・・・2人(前年同期比 ▲3人、)
- ・建設業の死亡者数・・・0 人(前年同期比 ±0人、)
- ・全産業の休業4日以上の死傷者数・・226人 (前年同期比 ▲66人)
- ・建設業の休業4日以上の死傷者数・・21人 (前年同期比 ▲1人)
- ※香川県の全産業の死亡災害は、3月末で2件発生し、建設業は0件です。死傷者数は前年 並みです。基本的な対策の継続をよろしくお願いいたします。

◎. 溝掘削工事での注意事項について

)掘削土砂を溝掘削のすぐ近くに置いている場合掘削土砂を溝掘削のすぐそばに仮置きしていると危険である。例えば、掘削深さ 1.5mの溝のそばに土砂を 1.0m積むと、高さ 2.5mと同等の土圧がかかると考ええるべきである。掘削土の置き場所は、少なくとも掘削深さ+余裕幅の距離を掘削尻から離しておく必要がある。



-)降雨のあとは周囲の地山が水分を含むことにより、土の重量が増して土砂崩壊の 可能性が高まる。
-)地下水や漏水等により湧水が確認された場合 土は水を含むと重量が増えるため土圧が増加し、また強度も大きく低下 する。湧水が確認された場合は、土止めを設置したうえで、しっかり 排水する必要がある。

◎. 化学物質管理者講習・保護具着用管理責任者講習のご案内

化学物質管理者講習(義務)のご案内

- 有害性のある化学物質を取扱うときは、少量の取扱いでも必要となり、又全ての業種で規模に関わらず 必要です。(個別現場ごとではありません)令和6年4月1日から義務化されています。
- 有害性のある化学物質とは、GHS による絵表示が表示されている物質・SDS 交付義務がある物質です。

GHS 絵表示



- 建設工事で使われている化学物質の具体例としては、セメント・地盤改良材・アスファルト・塗料・ 剥離剤・接着剤・シーリング材・防水材・ガソリン・軽油・灯油・溶接棒・アセチレンガス・一酸化 炭素・爆薬など非常に多くの物質があります。
- 現在指定されている物質は約900物質ですが、令和8年には約2900物質まで増えます。

■ 令和7年度 化学物質管理者講習 (7時間講習)

講習日	会 場	受講料	テキスト代 (会員)	テキスト代 (_{非会員})	
7月24日(木)	7月24日(木) 高松			_	
7月28日(月)	観音寺	13,600円	990円	1,980円	
11月12日(水)	高松				

保護具着用管理責任者講習(義務)のご案内

- 有害な化学物質を取扱う際に、保護具(マスク・手袋・長靴・保護衣等)を使用させる場合には保護具 着用管理責任者が必要となります。(個別現場ごとではありません)令和6年4月1日より義務化されて います。
- 主な業務としては、適正な保護具の選定、年1回行う顔面への密着性の確認(フィットテスト)、着用の 都度実施するシールチェックの方法の指導。保護具の保守管理、廃棄、台帳を整備し、フィルターの交 換等を記録する。
- 保護具着用管理責任者は化学物質管理者との兼任も可能です、また監督署への届出は不要です。

■ 令和7年度 保護具着用管理責任者講習 (6 時間講習)

講習日	会場	受講料	テキスト代 (会員)	テキスト代 (非会員)
7月29日(火)	観音寺			
8月21日(木)	8月21日(木) 高松		830円	1, 650円
11月26日(水) 高松				